



沖 歯 科 医 院 便 り

発行/沖歯科医院 〒053-0855 苫小牧市見山町4丁目1-6

☎0144(72)8558 ☎0800(800)8545

<http://www.oki-dentalclinic/>



子供の歯を守ろう！ 【親のむし歯と子供のむし歯との関係】

虫歯が虫歯菌によって引き起こされていることは良く知られています。虫歯はミュータンス菌のような虫歯菌による感染病なのです。ですから、生まれてすぐの赤ちゃんの口の中に虫歯菌はいませんし、そのまま歯が生えてきても虫歯になることはありません。では、どうして虫歯になってしまうのでしょうか？

生まれてくる子にはむし歯菌はいない

お口の中の菌というのは、むし歯菌だけでなく色々な種類の菌が存在しますが、その菌の構成は2歳半までに決まると言われています。

つまり、2歳半までにむし歯菌の割合が多くなると、一生むし歯になりやすくなってしまうということです。お父さんやお母さんが使ったスプーンや箸、スキンシップなどでむし歯菌は子供にうつっていきますので、この期間は「食べ物の口移しや噛み与えをしない」、「離乳食の味・温度チェックを赤ちゃん用のスプーンで行わない」、「お箸やスプーンの共有はしない」といった対策が大切です。また、大人が使ったお皿やお箸にも虫歯菌は付着しているので、大人のお皿に一度入った食べ物を子供に与えるのも止めたほうが良いでしょう。

このような対策を徹底させるためには、家族の理解が欠かせません。一緒に食事をする事が多い祖父母などには、事前にきちんと話しておきましょう。

大切なのは親子一緒にデンタルケア

ただ、こうした対策を徹底することで虫歯菌の感染機会を減らすことはできますが、虫歯菌をまったくうつさないことはほとんど不可能なことです。口に入ってしまった虫歯菌が増えてしまわないように、哺乳瓶に虫歯菌が好む糖分の入った飲み物（ジュース・スポーツドリンク・乳酸菌飲料など）を入れて飲ませないようにしたり、1日に何度も食事やおやつを食べる「だらだら食べ」をさせないようにし、食事の後は必ず大人が歯みがきを行って、正しい歯みがき習慣を身につけさせましょう。

虫歯は一度なってしまうと、穴を埋めることはできても、元の健康な歯に戻すことはできません。健康な歯を保つためには予防していくしかないので。

子供のむし歯は正しい予防の知識があれば多くの場合防げますので、お子様が生涯むし歯で悩まないように虫歯菌に感染する前からの口腔ケアを徹底しましょう。

お伝えします！

今、知っておきたい「**歯科ニュース**」

歯がすべて抜けると6歳も老けて見える！

オーラルケア商品を製造販売しているサンスターグループが、30代～40代の男女500人を対象に歯に関する調査を行ったところ、「歯がすべて抜けると6歳老けて見える」という結果になったようです。この調査は、調査対象者に“通常の顔写真”と“歯がすべて抜けた状態に加工したイメージ写真”を比較してもらい、それぞれ何歳に見えるかを聞いた結果です。歯が抜けて口元にハリがないだけで、ずいぶん老けて見えてしまうことがこの調査でわかりました。

顔の老化防止といえばシミのケアなどお肌の手入れに意識が向きがちですが「**1本でも多く自分の歯を残す**」「**失った歯はきちんと補う**」これもアンチエイジングのひとつといえます。

